



やまて図書



2025年聖年 希望の巡礼者

『希望は欺かない — 二〇二五年の通常聖年公布の大勅書』

Spes non confundit (スペス ノン コンフンディト)

教皇フランシスコ (著)



2024年12月24日にバチカンのサン・ピエトロ大聖堂の聖なる扉が開かれて開幕し、2026年1月6日の主の公現の祭日に同扉が閉じられ閉幕する通常聖年が始まります。この冊子は聖年を公布する大勅書です。聖年を、神の恵みから希望を受け、神へと向かう歩みを強めていただく機会とするとともに、困難にある多くの人に希望をもたらす者となるよう招きます。教皇庁内赦院の免償に関する教令を併録。

(カトリック中央協議会 HP より)

聖年のロゴマーク



- ・地球の四方から集まって来た人々。互いに抱き合い、すべての民を結びつける連帯と友愛を表す。
- ・先頭の人物が抱く十字架は、信仰と捨て去ることのない希望のしるしである。
- ・波は人生の旅が穏やかな歩みとは限らないことを表す。ゆえに、人は希望を求める。
- ・錨は十字架の下部にあって強調されている。錨は希望の比喩。(ヘブライ人への手紙6章18-19節)
- ・巡礼の旅とは個人的なものではなく共同体的もの。巡礼は十字架へと向かうエネルギーを備えたもので、人類を捨て置かないという存在の確かさと全き希望を与える。このマークにそれを表した。

バチカンの聖ペトロ大聖堂の「聖なる扉」続き、3大バシリカでも「聖なる扉」が開かれます

2024年12月29日にローマのラテランの聖ヨハネ大聖堂 (サン・ジョバンニ・イン・ラテラノ)

翌年2025年1月1日に聖マリア大聖堂 (サンタ・マリア・マッジョーレ)

1月5日に城壁外の聖パウロ大聖堂 (サン・パウロ・フォーリ・レ・ムーラ)、それぞれの聖年の扉が開かれます。



サン・ピエトロ大聖堂



サン・ジョバンニ・イン・ラテラノ



サンタ・マリア・マッジョーレ



サン・パウロ・フォーリ・レ・ムーラ

4点の画像出典: ウィキメディア・コモンズ (Wikimedia Commons)